

勿来工業高等学校建築科OB会 事務局だより

第7回 総会について

平成11年6月26日

平成十一年六月二十一日（土）、午後五時より新瀨においで総会が開催されました。以上審議が満場一致で可決され議案が成立致しました。

十二回生の安斉氏が可会を務め、初めに本田会長の挨拶があり引き続き議事に参入しました。議長は九回生の平子氏が選任され行なわれまし

議案 号に、事業及び収支決算の各報告、二号は会計年度の会則変更、三、四号は事業計画、収支予算の検討審議、今回は五号に役員改選があり会長に四回生の高杉吉正氏が選出されました。通算で三代目となります。以下役員が入替りま

した。福富大祐氏が副会長に新たに加わり、OB会が最も力を入れている設計コンペを担当します。以上審議が満場一致で可決され議案が成立致しました。

OB会員が今回で三六回生を迎え、会員数一四三〇名中総会出席者約七〇名と5%弱の出席率でした。総会の役割分担（司会、議長等）を未経験者の投入により新鮮なものとして感じられました。今後とも役員及び会員の活躍を期待致します。

パブル景気崩壊後、今だに不況から立ち上がれない日本、工場閉鎖、解雇等のニュースが飛びまわっております。この状況の中、OB会の仲間と交流をもって情報を吸収し利用できれば得るものがあると思えます。今後もこの会を意欲のあるものとして、又強力な会として発展していくことを



主役の新年会に就任された高杉会長より記念すべき挨拶、舞台を移し懇親会の幕が開かれました。まずは、今回一りとなり

（まだ、皆様しらすふです。）続いて、来賓の矢吹建築科現科長の祝辞を頂きました。（まだ、まだ皆様NOアルコールです。既に、喉も腹も玄界灘...もとい限界！）そして、ついに待ちに待った乾杯の音頭があり、同時に視線はテーブルの上の、汗をかいた琥珀色の硝子で出来た物と、会場中央に並べられたアインシェフが作られたと思われる...と思われる?...のような、煙の筋肉が柔く料理



春より社会人になるにあたり、私は自分の行動に責任を持つ人間になりたいと思

これまでも学生、もしくは未成年ということで許されていた立場とは違い、企業という更にも自分の立場をしっかりと行動していきたく思

私の社会人生活はこれからです。仕事を通じ、知り合えるOB会員の諸先輩方を良きアドバイザーと考えてお

私が入社して初めての仕事は、鉄骨造でした。まだまだ半年少々、見るも聞かぬも初めて自分の思うようにはいかず、とどまどばかりでしたが、色々な感動を味わいました。それは、何もない平地からたかさんの職人達の手で建物が成り立っていきという感じです。その中で私が一番感動した瞬間、それは、建物の

楽しいことばかりではないと思いますが、一生懸命頑張っていきたいと思

私に感動をいっぱいいただき、これからも勉強を続け、一刻も速く自分の手で施工をし、もっと大きな感動を味わいたいと思

— 東京支部近況報告 —

東京支部はOB会員の協力をあおぎながら懇親交流を図っております。支部長の草野智（2回生）さんが今春退社をされその後栃木県大田原市の時に転居されましたがOB会の際には話を進めいただきました。会議の席でいつもテーマにあることは本部と支部で合同イベントができないかということがあります。支部会員の皆様が単なる親睦会や交流ばかりでなく社会にきちんとしたメッセージを送りたいという願いがある様です。ぜひ近い将来いわき市全体を考えたイベントで打ってつけではないかと考えております。1999年から2000年とひとつの区切りがきかしく社会全体の種組みが大きく変わっております。建築業界も例外ではありません。東京支部会員も荒波の中で共に情報交換とネットワークづくりをしております。今後とも共有する時間を数多くもちたいと考えているのが支部OB会員の共通の認識です。

発行所
いわき市平南白土二丁目14-2
発行 者
勿来工業高等学校
建築科OB会
会長 高杉吉正
TEL 0246(22) 2425
(事務局)

総会懇親会に出席して

事務局 高原康宏

か？(oh my God!) 本能が出てしまえば失礼しました。

まあ、とにかく、建築科OB会には、伝統とも言えるので

でしょうか？学生時代から建築科独特の団結と連係が不思議と生き続いており、年の差を隔て個々の人間同士として、自然体で話し合える、すばらしい仲間会だと私自身誇り

に思っております。

最後に、建築科OB会には、永遠に不滅です。(御静職誠にありがとうございます)

今年の夏は、例年になく猛暑でしたが、師走を迎え、今日、寒さも一日と厳しくなってきました。

会員の皆様には、お変わり無くお過ごしのこととお喜び申し上げます。

忙しい毎日の中、会員の皆様には勿来工業高等学校建築科OB会の発展にご協力頂いてお

去る六月二十六日に開催したOB会第七回定期総会も多くの会員の出席を得て開催することが出来たことは、誠に喜ばしい限りであります。また、懇親会においても多数

の会員の方々に出席頂きました。

来年度の総会においては、会員相互の鋭気を養うため、講演等を行う予定でありますので、ご期待下さい。

お待ちしたいと思います。

と

さて、現在の社会情勢は、バブルが弾けたあとの経済の低迷・少子化問題等があります。

特に、経済問題に関しては、完全に人々が憂慮しているように、今まさに正念場であると思われ

無実体経済は、今後考えられませんが、現在の経済も公共事業に支えられた見かけ経済と認識せざるを得ない状況であると思われ

一方、私達の後輩である母



就任のあいさつ

OB会長 高杉吉正

校の新卒者の就職難の状況についても、心を痛めないわけにはいきません。

しかし、私たちは常に向上心を持ち、競争力を高め、日々の出席率や会費納入率の向上を深められ、若い会員の皆様が参加出来るようなシステマチックに、改めて「協力事業等の充実をお願いします。」とOB会の益々の発展のため、役員一同頑張っ

を頂き、先

をお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご自身とご家族のご多幸を心から祈願しております。

結果を固りながら若い会員の方のご協力をなくしてはあり得ないと考えております。

どうか、会員相互の親睦を深められ、若い会員の皆様が参加出来るようなシステマチックに、改めて「協力事業等の充実をお願いします。」とOB会の益々の発展のため、役員一同頑張っ

建築科の近況

建築科長 矢吹 二良

建築科の近況を報告します。

十一月現在で建築科の生徒は十名ぐら

建築関係で働くことを目標に日々努力してはいるがこの不景気の世の中で就職出来るかが心配です。建築関係者は異口同音に仕事がない、先の見通がたないという暗い話ばかりです。十一月現在の建築科の建築関係就職内定者は十名で昨年と比べると一段と厳しくなっています。

十一月六日、七日の二日間五年ぶりに菊田祭が開かれました。一年生は駄菓子や、二年生は焼きそばや、三年生は休憩所と食べ物扱う物ばかりです。建築科は堅く住居の制作、木工品の販売、古建築の模写、在校生全員および卒業生との協力を以てい

日本工業大学のコンペに三九年中十番以内の福島県で初めて佳作に入賞しましたのでお知らせしておきます。この応募作品完成にはOBのカズオ設計事務所長の斎藤さんにご指導、ご協力を頂きました。

十一月度の人事異動で建築科職員も六名中三名が変更されました。ベテランが勢揃いしています。平工業高校土木科も二名異動があり土木にも強くなり、就職の分野も広がりました。これは大変良いことではないかと感じています。

平尾先生が病気休暇により九月から富樫先生が代わり、十一月には平尾先生復帰する予定です。職員六名がスクラムを組んで不況にも負けず建築科の指導に当たります。

数は一学年四十名(担任 高崎昇先生、二年生三十七名(担任 鈴木智恵先生)、三